

茅ヶ崎市立小・中学校の児童・生徒、保護者、教職員 並びに学校教育に携わる地域の皆様へ

～適時適切なマスクの着脱や教育活動の実施について～

令和5年2月16日
茅ヶ崎市教育委員会
教育長 竹内 清

日頃より、本市の学校教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

コロナ禍での様々な制限の中での生活も3年が経とうとしていますが、今年度は、学校行事等について、保護者、地域の皆様のご尽力の下、各学校の児童・生徒や教職員が様々な工夫に努めながら実施できていることに、心から感謝申し上げます。

学校は児童・生徒が集団生活を通して、心豊かに成長していかれる貴重な場所です。そのため、これまで教育活動を保障するため、感染症予防策の徹底を図ってまいりました。

しかしながら、感染拡大防止の目的で、マスク着用が推奨されて以来、同級生や先生の顔もマスク越しに見ることが日常となるなど、感染症が児童・生徒に与える影響は看過できない状況にあります。政府は今春に新型コロナウイルスの感染症法の位置付けを「5類」に引き下げ、学校においては令和5年4月1日を一つの区切りとして、マスクの着用を求めないことを基本とする方針を示しました。そのため、各学校においては、今年度内の学校教育活動については、これまでのガイドラインを踏まえつつ、感染防止等のためのマスク等の着用や換気等の対策を講じながら、マスクの着脱等に係るいじめや差別が生じぬよう、引き続き、児童・生徒の指導にあたってまいります。

今年度の残された期間、子どもたちが安心してマスクを外したり、着けたりすることができるよう、改めて児童・生徒の皆さん、保護者、教職員、地域の皆様へ、マスクの着脱の考え方について共有したいと思います。

マスクの着脱については、様々な事情により「着用できない人」、「着用しない人」、「外すことができない人」、「周囲に着用を希望する人」等があり、これらの状況を起因として、学校生活の中で嫌な思いをしたり、辛い気持ちになったりする児童・生徒もいることから、それぞれの理由や思い等について、互いに理解し合い、尊重していくことが大切だと考えています。

社会全体が状況に応じた感染防止対策や、さらなる新しい生活様式の普及と定着の促進を図る中、学校教育においても、児童・生徒の貴重な活動機会をより充実したものにしていくという観点から、様々な活動を制限するのではなく、地域の感染状況や各学校の実情に応じて適宜判断していくこととなります。

従いまして、学校行事の実施の有無や形態等については、学校ごとに異なることもありますので、ご理解・ご協力いただくとともに、ご不明な点等については、各学校にお問い合わせくださるようお願いいたします。

(裏面へ)